

※このまま印刷して、参加者に配布します。

## 令和7年度 栗本 地区集会 地区別テーマ

<p><b>開催方法</b> 以下の中から一つ選んで、□にレ点を付けてください。</p> <p>□ ワークショップ      <input checked="" type="checkbox"/> 質問や要望に対する報告と意見交換</p>
<p><b>地区別テーマ</b></p> <p>安心して暮らし続けることのできる地域づくり</p>
<p><b>テーマ選定理由</b></p> <p>栗本地区は市街地と中山間部の中間にある地域です。高齢化も進んでおり、従来からの地域活動の従事者や地区役員の担い手不足が生じています。また、僅かな利用のためのため池管理や水利組合は大きな負担となっています。農山間部では、災害の影響を受けやすく、早急に対応が必要な問題があります。地域住民が安心して暮らし続けられ、より魅力を感じる地域づくりのために考えていきたいと思い、テーマとしました。</p>
<p><b>具体的な進め方または提案等</b></p> <p>1. 「水利組合」の現状と課題 【水垂区】</p> <p>水垂区では、「水垂水利組合」が溜め池の管理や水の管理を行っています。耕作放棄地の増加により、僅かに残った水田のために水を供給していますが、後継者不足、人手不足や高齢化の影響で、溜め池周辺の草刈りなどの管理も容易ではありません。</p> <p>また、「光陽水利組合」では、エコポリスと同時期に整備された広い畑に対して、ポンプで水を供給しています。こちらも、後継者不足、人手不足や高齢化の問題は同様であり、また、ポンプや水道施設の老朽化も問題となっています。</p> <p>以下の課題について、市としての対応をお聞きたいです。</p> <p>① 後継者不足、人手不足や高齢化により草刈り等の溜め池管理が負担となっている点について、具体的な対策はありますか？</p> <p>② 蓮池のような昔ながらのため池の堤防の安全対策について、市はどのように考えていますか？</p> <p>③ 耕作放棄地が増加している現状について、市としてどのような方針をお持ちですか？ 耕作放棄地の有効活用について何か具体的な計画はありますか？</p> <p>④ 池の谷池のポンプ等の設備について、今後も継続して支援を受けることは可能でしょうか？</p> <p>2. 若者たちのための魅力ある地域づくりの現況と課題 【初馬区】</p> <p>当区は東西に長く、西山小区を含む農山間部では世帯密度に大きな差があり、地区役員の人員配分に無理が生じています。納涼祭は再開されず、敬老会も簡略化された状況です。また、祭り青年の活動も停滞しており、開催できない地区も存在しています。さらに、災害の影響を受けやすい地域でもあり、防災対策が求められます。</p> <p>以下の課題について、市の対応をお聞きたいです。</p> <p>① 災害に強い地域づくりを目指すため、初馬川護岸対策や西山地区への支援として道路整備（大野西山線、青田西山線、特に大野西山線と青田西山線の合流地点）を進める予定はありますか？</p> <p>② 西山地区では携帯電話が繋がらない場所があり、災害時に連絡が取れない問題が発生しています。この通信環境の整備について市として取り組むお考えはありますか？</p> <p>③ 初馬の魅力の発信と、若者が地域づくりに参加していく環境を作っていくために、市として具体的な方策や手法はありますか？</p> <p>④ 掛川市が目指す「若者が住みたい、働きたいと思える地域」の理想像について、具体的にどのようなものを描いていますか？</p>